

地 方 事 情

袖川村奉仕事業申合規約

◎岐阜縣吉城郡袖川村の奉仕事業申合
私利私益の獲得の餘念のない現社會に於ては、國家が命令した義務でも尙且つ之が履行を滞滯せしめて居る連中が少くないので、法律命令の干涉外に超越して、社會奉仕的事業を經營するのは、美はしい國民性の發露である、岐阜縣吉城郡袖川村に於ては、村民が協力一致して、縣が維持修繕の義務を負擔して居る府縣道の修繕に力むることの申合を爲し、大

正十一年の三月から實行して、現在に於ては相當の成績を挙げて居る、如何に道路を改築しても、其後に於ける維持修繕が完全でなかつたならば、折角の改築は其效果を擧ぐることが出來ないのであるが、此種事業が、縣財政の關係上完全に執行することの出來ないのは、常に遺憾とする處であるが、之を村民の奉公心の發露によつて、實行することが出來たならば、是ほど結構なことはない、府縣道の編入に熱中して、その目的を達した曉は道路の維持に就て知らぬ顔の半兵衛を極め込む連中に、此美はしい奉公心を注射してやりたい、左に其の申合規則を載けて世に紹介する。

第一條 本村ハ縣道ニ沿ヒ其ノ利便ヲ受クルコト多キノミナラス土木費ノ如キモ他ニ比シ尠カリシハ本村民ノ幸福ヲスル處ナリ本村民ハ茲ニ鑑ミル處アリ聊カ社會奉仕的ノ意味合ヲ以テ縣道並郡道ノ修繕ニ微力ヲ致シ通行者ノ安全ト道路ノ維持改善ノ一端ニ努ム

第二條 本村民ハ前條ノ目的ヲ達スル爲毎年度左記ノ三箇日ヲ奉仕日ト定メ當日ハ每戸共一名ツ、出役ヲナシ誠意其ノ目的ノ遂行ニ努ム

一回四月十五日 二回七月十五日 三回十月一日

以上ノ外軍人分會員青年團員ノ行フヘキ縣道ノ除雪事業ニ對シ援助スルコト

第三條 各區ニ於ケル修繕區域左之通

巢山 郡道山田地内縣道分屹點ヨリ全部

柏山 神原崎ヨリ字日面平谷川(上林孫三郎下モ)ニ至ル

大笠 柏原地内字日面平谷川(上林孫三郎下モ)ヨリ山田界

字落谷橋ニ至ル

西 同區内ハ縣道及郡道數河街道

上山田、下山田、伏方、堀之内、寺林、梨ヶ根ノ各區ハ其ノ區内ニ於ケル縣道

第四條 役場吏員並區長ハ當日必ス出張シ區長ハ其ノ屬セル

區ノ出役者ヲ役場吏員ハ村全體ニ涉リ指導督勵ス

當日ハ郡役所吏員並本村駐在所巡査ノ出張ヲ請ヒ指導ヲ受

タルコト

第五條 區長ハ毎期其ノ區ノ出役人名ヲ記載シ置キ其ノ員數

ヲ施行期日後五日以内ニ役場ニ報告スルコト

第六條 區長ハ當日出役セサル者ニ對シ次回ノ奉仕日ニ別ニ

其ノ分出役セシムルコト但シ區長ニ於テ相當事由アリト認

ムル者ニ對シ免除スルコトヲ得

第七條 出役者ニ對シ當日修繕ニ要スル器具類ヲ相當割合ヒ

一點以上携行セシム其ノ種類概ト左ノ如シ

唐鐵類、「ジャウレン」、石油空箱類(荷繩共)、簍類荷車、畚類、

以上ノ外必要ナル器具

大正十一年三月二十二日協定

奉仕一、路面ノ凸凹並泥濘ノ箇所ニハ努メテ砂利ノ敷キ込

ミヲ多カラシムルコト

二、道路ノ排水渠ヲ浚渫シ路面ニ浸水セサル様ニナス

コト

三、排水渠等ヨリ浚上ケタル泥土(粘土類は修繕用トス)

ハ路面内ニ放置セス他へ取捨ヲナスコト

四、道路面ニ差込ミタル草木ノ枝葉ヲ伐採スルコト

五、以上ノ外道路橋梁溝渠等ノ小破ヲ修繕スルコト

◎御船の朝起き青年

小學生と共に道路奉仕

熊本縣下於ける御船鐵道を一番汽車で邊見驛を通過するゝ

人の第一印象深くせらるゝのは御船青少年の朝起會であら

う。あの縣道筋の長い若宮社のほどりまでエイサーの掛聲

勇ましげに既に幾月に亘りて奉仕するのみかは裁判所に或

は役所官衙神社佛閣へと五時の起床後十數名の青年が竹簾相

手に掃除を行つてゐる此健氣な態度には近所の人さへ驚いて

ゐる縣道掃除夫のK爺さんに尋ねると「中々感心な人達だ早

く夜の明ける頃には掃ひてお歸りですよ」と學校の藤岡主任

も同車して曰くそは金森龜彦といふ青年で小學校卒業後補習

學校へ數年無缺席で研究科の級長を努めてゐる位で成績も充

く生徒間にも中々受のよい御船補習が今日まで漕ぎつけたの

も金森君の與つて力があると終了式の日には特に熱心努力す

るとの理由の下に表彰を受けた程の男で毎日兄と共に二枚宛

疊を製造する中の精力家だと一寸珍らしい青年である。

◎大阪近況

△市電の交叉點等に安全地帯設置

大阪市内で交通頻繁な電車の交叉點や重要な停留場に道路面より四時突出した安全地帯を設置して交通上の安全を保障

じようとの計畫は兩三年前池松知事時代に市で企畫して、府に其の認可を申請したのであるが。府の主管課土木課は之を認めの意嚮であつたのに保安課では、道路面より突出した安全部は却つて自動車等の交通を阻害する結果を招徴するから道路面と同高でなければ之を容認することは出来ぬと反対意見を持したため今日迄其の決定を見ず遷延したまゝであつた。所が最近中川知事は斷然之を許すこととなし其の手續を取り運び中であるから近日市の計畫通り即ち高さ道路上四寸幅五尺長さ二十四尺の安全地帯が出来るやうになつた、仍で市では先づ恵比壽町交叉點、三越呉服店前の二箇所に木造のものを試験的に設備し、其の成績を見た上で煉瓦其の他の材料を以て本設備を初め漸次他の重要地點に設備する方針である。

△交通協会創設の計畫

過般の市電從業員の大罷業によつて苦い経験を嘗めた大阪市では市會議長、商業會議所會頭、府會市部會長等が發起人となつて、市の交通機關が停止された場合でも市長の手で、十分其の機關の運轉を爲し得るやうに平素から機械的知識の養成、訓練をせしむる目的を以て一種の交通協会を創設する計畫を立ててゐる。未だ其の事業の詳細を知ることが

出來ぬけれども、いづれ罷業其の他の人的故障の起つた場合に直に其の從業員の代理の出來得る人を養成するのが主たる目認める意嚮であつたのに保安課では、道路面より突出した安

部の目的を以て存在し人物養成を完了しつつあれば、それは將來罷業に對する暗黙の牽制となり威嚇となり或は其の活動が罷業破りとなつて不當の労働者壓迫となり罷業權の侵害となるに就ては早くも反対の聲がある、即ち交通協会が、其的であることは想像に難くない。

これに就ては早くも反対の聲がある、即ち交通協会が、其の目的を以て存在し人物養成を完了しつつあれば、それは將來罷業に對する暗黙の牽制となり威嚇となり或は其の活動が罷業破りとなつて不當の労働者壓迫となり罷業權の侵害となり社會惡結果を齎すものである、故に救急的準備をするよりも寧ろその非常事故の發生を豫防するためには、常に現業員の衛生、健康、休養、心事等物心兩面の狀態に綿密なる注意を拂ひ、一方待遇不十分から生ずる過勞や榮養不良を防ぐと共に他方個人の人格や權利を尊重して自主獨立の精神を養はしめ敏活にして自由なる自發的活動を暢達せしめ、快活に寧ろ興味を持つて此の公益事業に献身せしむるやうに仕向けることが急務であると言ふのである。

創立發起者の目的とする所にも理はあり、反対の聲にも亦聞くべきものがあるが、未だ創設の企劃中にあり具體的の施設目的が明かでないから「其れが明かにせられた上でなければ、」何れを正しとも言つて出來ない。(大阪府報告主任報)

◎加古川橋竣工式

八月十一日午前十一時二號國道加古川に架換せられた加古川橋竣工式が舉行せられ本會から田中幹事會長代理として臨席し左の祝辭を贈つた。

祝辭

加古川橋改築其功ヲ竣へ構造堅牢面目茲ニ一新ス顧フニ本橋ハ國道山陽線ノ要樞ヲ占メ交通輸送上其ノ關スル所極メテ多シ。曩ニ加古川改修工事ノ施行セラルヤ之ヲ機トシテ本橋ノ改築ニ着手セラル工費要スル所少ガラスト雖之ニ依テ今後一般ノ福利増進ニ資スル所頗ル大ナルモノアルベキヲ信ス。本會創設以來道路改良ノ必要ヲ力説シ之カ宣傳ニ勉ムル茲ニ年アリ今ヤ當局ノ努力ト地方人士ノ自覺ト相俟ツテ改良計劃ノ着々其歩ヲ進ムルノ秋本橋架設ノ竣工ヲ見タルハ邦家ノ爲誠ニ欣幸ニ堪ヘス竣工式ニ際シ一言祝意ヲ表シ併セテ長ニ其效果ヲ收メラレムコトヲ望ム。

大正十三年八月十一日

道路改良會長 水野鍊太郎

◎富士川橋竣工式

本誌七月號に紹介せられた富士川橋は愈々竣工し八月十七日午前十時竣工式を舉行した。本會からは水野會長が親しく臨場せられ左の祝辭を贈られた。

祝辭

富士川架橋工成ルヲ告ケ本日茲ニ開通式ヲ舉ケラルルニ遭フ。抑々東海道ハ我國交通ノ幹線トシテ夙ニ重要ナル地位ヲ占ムルモ嶺路ノ改良湖川ノ架橋尙未タ完カラサルモノアリ爲ニ十分其ノ使命ヲ發揮シ得サルノ憾アルコト久シ、本會創設以來專ラ道路改良ノ急務ヲ唱道シ曩ニ東海道ノ改良ヲ計畫シテ建議スル所アルヤ靜岡縣當局ハ率先之カ改良ニ著手シ箱根坂路ノ改築、安倍川橋架換ノ如キ既ニ之カ工事ヲ完成シ今又更ニ本橋ノ架設其ノ功ヲ竣ルヲ見ル、念フニ本橋ノ竣工ハ當ニ之ニ依テ東海道ノ交通上ニ偉大ノ效果ヲ齎スノミナラス駿遠冀クハ管理維持其ノ宜シキヲ得本橋ノ效果ヲ發揚スルニ於テ遺憾ナカラムコトヲ、一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トス。

大正十三年八月十七日

道路改良會

會長 水野 錬太郎

一、ポスター

三、活動寫

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

二、宣傳ビラ撒布

四、芝居

(地元町
村寄附)

五、横幅

(地元町
村寄附)

水禽の羽音に逃げ走つたは平家五萬の腰抜け武士。それは治承の青富士川に起つた出來事。

その壯大なる橋梁には水禽も糞を收めて鳴を鎮む。それは今のが富士川橋。

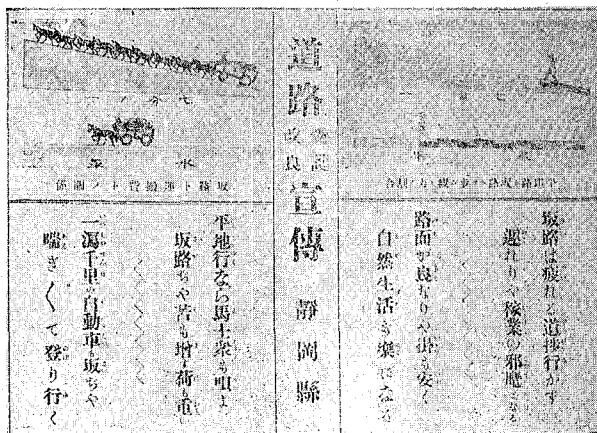
その富士川橋がいよいよ竣工して、八月十七日に開橋式を舉行した。

我が道路係に於ては此の機會を利用して、道路愛護改良の一の大宣傳を行つた。今その様子を次に書いて見やう。

道路愛護改良の宣傳は今回始めて行つたのではない。安倍川橋と富士見橋の開通式、大井川架橋起工式の時にも行つた。「道路を愛護せよ」「道路を改良せよ」のポスター、同じく宣傳ビラの撒布、活動寫眞の映寫。いづれも相當の効果を收め得たといふ確信を持つてゐる。

それから今度の富士川橋開通式當日の宣傳、都合四回目である。而して今度のは前三回に比して稍々規模を大にし、費用も金五百五十圓を投じて、大々的に計畫は樹てられた。

裕の無いことと、暑中のことではあるので、講師及聽講者の



寸九横分三寸六縦(刷字黒等黄・青・赤色地)ラビ宣傳

三、活動寫

(地元町
村寄附)

五、横幅

(地元町
村寄附)

四、芝居

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

一、ポスター

三、活動寫

五、横幅

(地元町
村寄附)

◎靜岡縣道路愛護・改良宣傳の情況

(百瀬靜岡縣主
木課長寄稿)

迷惑になることを、考へて遂々開催することの出来なかつたことを、遺憾に思ふ。

道路改良宣傳

の芝居を行る

宣傳用小旗

縦六寸五分
横八寸五分

専門家の考案になつたポスター。それは道路の改良を象徴する鶴嘴の平面を縦に三列しその各々に

道路ヲ愛護シマセウ

道路ニ物ヲ置カヌ様ニシマセウ

道路ヲ改良シマセウ

は一面大なる

期待を持つと

同時に、一面

不安も伴はない
ではなかつたがその結果



に芝居を試みることは恐らく最初の試みと思へばなほ更である。

一、宣傳ビラ撒布

道路改良の急務を謠つた俚謡正調と坂路と歩行、坂路と自

れに道路愛護、改良宣傳

の念を喚起させたことは愉快である。それに道路愛護、改良の急務を謠つた俚謡正調と坂路と歩行、坂路と自らの距離實に二十九里、一町に約二枚づつ貼付した。その數は三千枚である。

道行く老幼男女の、指し、「道路を愛護しませう」「道路を改良しませう」「道路に物を置かぬ様にしませう」と囁きつつ行き過ぐるものまたは停止るもの、を隨所に見受けた。相當効果を收め得たと思ふ。

動車との關係を圖解したビラ二萬及「道路を愛護しませう」

ふ。

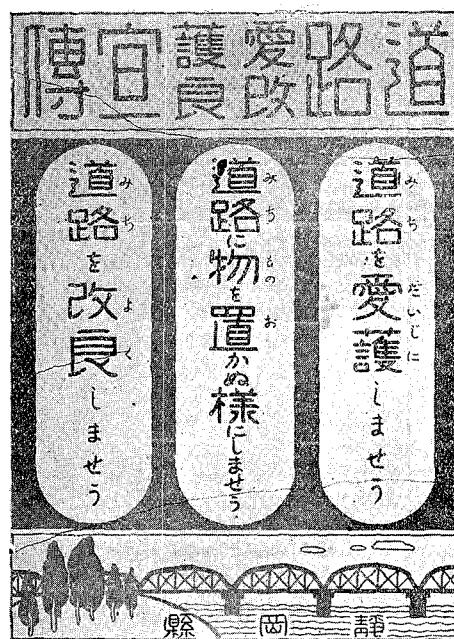
「道路を改良しませう」「道路に物を置かぬ様にしませう」「道路は左側を歩るきませう」と印刷した小旗。小旗には愛らしい少年と少女の姿が描がれてゐて子供の心を擗むに十分である。それが二萬枚その他道路と運搬量との關係を圖示せるビラ五千合計四萬五千枚。

八月十七日午前七時三臺

の自動車は用意せられた。

自動車は各々赤青黃等の装飾モールにて化粧せられ、前部には朝日に輝く日の丸の國旗、後部には「道路愛護改良宣傳」と染め抜きたる大旗と静岡縣の幟が朝風に翻る。一臺には音楽隊、續く二臺には、赤、青、黃、綠、白等のビラ及小旗が山と積まれ準備全く成る。午前八時音楽隊の進行曲吹奏を合図に縣廳立闈前廣場を一週し爆音勇ましく

縣廳正門を後に静岡市札ノ辻角を左折一路國道一號を東に向



の撒布したる道路愛護、道路改良の有形の聲である。清水市を過ぎ興津、由比、蒲原を経て富士川町に至り小憩、更に岩松、加島、吉原、沼津市、吉永線を浮島、須津等を経て再び吉原に出で歸路に着き午後五時富士川町に歸着し解散した。しかして宣傳語入

小旗は宣傳ビラの成績に比較して一層有効であつた。

(イ) 小旗は遠くへ飛び散らぬこと

(ハ) ビラは読めば間もなく捨てることあるも小旗は玩具と

なりて比較的長時間人手にある

(ロ) ビラは遠方に飛散し拾ひ盡せぬことあるも小旗は必ず拾ふ

八月十七日午後七時より富士川町地内富士川橋に於て野外

四、芝居

活動寫眞を映寫した。新架橋の第二のビーヤに幕を張り、

大川廣二一座の宣傳大芝居は地元町村の寄附にかかり岩松

その前方に急造の臺を置きそれに映寫機を据えて映寫したも

村地内富士川畔水神の森の後に開演した。十七日午後二時開

のである。その設備こそ不完全なれ、熱心なる觀衆、熱心なる宣傳員の集ひである。折

柄十七夜の月は皎々と照り輝き、煙火中空に炸烈

して人の心を奪はんとすれども、心は映畫に集中

され熱心に見物して居つた。東京市のある道路とアス

ファルト鋪装の實況、真心橋他に所有の社會劇等

聞に四間の急造天幕張である。「貴き犠牲」、「社長さ

れども、心は映畫に集中され熱心に見物して居つた。東京市のある道路とアス

ファルト鋪装の實況、真心橋他に所有の社會劇等

を加へ五卷、真心橋に就いては本誌第六卷第三號

出来ぬものは電燈電話の架空線、路面電車及自轉車の三

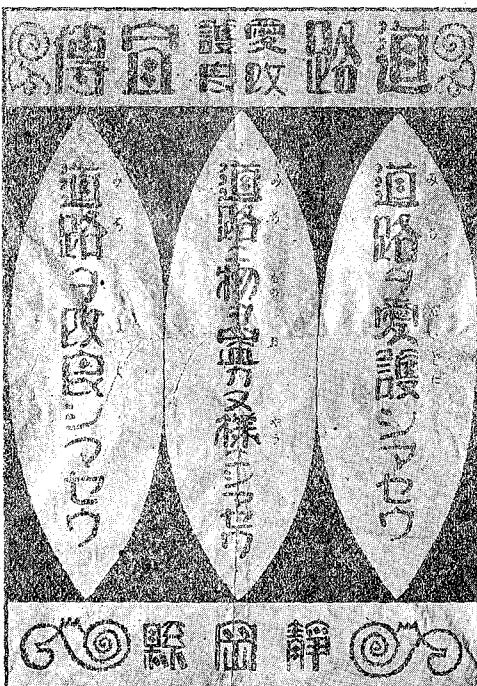
びに橋梁の修理に純真なる社會的奉祝の精神美を發揮したといふ事實劇である。開橋式にはふさはしい寫眞であつて觀衆

の目のよだとかサモ自慢らしく書立つてゐるのはチヨット悲惨な氣持がするところも某新歸朝者の談

「四國たより」にあるが約言すれば健男氣なる小學兒童が一月の寒風を衝いて道路並

に多大の感動を與へ愛護改良の念を喚起し得たこと

と思ふ。（筋書は十月號に掲載）



宣傳大芝居

（大川廣二一座）

（大川廣二一座）